

月刊 アカサス ニュース

第39号 1999(平成11年).10

「アカサス」とは、古代ギリシャ・ローマに由来し、金沢大学の校章にも使われている植物の名称(和名「ハアザミ」)です。

新学長体制スタート! 第9代学長に 林 勇二郎氏が就任

トップニュース Top News



バトンタッチの意味を込めてがっちりと握手を交す岡田学長(左)と林新学長
=9月17日、学長室で



佐藤事務次官から辞令を受ける林新学長
=9月22日、文部省で

9月22日付けで就任した林勇二郎新学長から、同27日、事務局大会議室で、事務職員を前に就任のあいさつが行われ、「事務の一元化、独立行政法人化問題等、大学を取り巻く状況は非常に厳しいものがあり、事務職員の役割は大きくなっているが、以前にも増してがんばっていただきたい」との激励の言葉があった。



事務職員を前に就任のあいさつをする林新学長
=9月27日、事務局大会議室で





巻頭言

大学における
総合



学長

林 勇二郎

金沢大学は今年創立50周年を迎えた。5月には本学の来し方を讃え、角間と宝町をキャンパスとした行末に期待を込めて盛大な式典が催された。しかし、これまでの組織・制度・運営の見直しが迫られている大学改革の最中であって、この節目にはどこか忸怩たるものがある。

さらにここに来て、独立行政法人化の問題が蕩々たる流れになりつつある。9月20日には、文部省から国立大学の設置形態の変更のため、特例措置を中心とした検討の方向が提示された。本学では、その内容を精査し議論するため独立行政法人化問題検討委員会を設置したが、法人に移行するもしないも大学が自ら判断したいとの思いが強い。

独法化の是非は別として、昨今、大学の教学に競争や効率の観念が見え隠れしている。18歳人口の減少による大学全入の時代であって、スリム化された私学等を相手に国立大学の経営的運営が避けられなく、そのための自己管理能力が問われることになる。本学に

あつては、部局の自主性と全学の合意のもとで、競争のための総合大学としての個性が先ずは求められねばならない。

大学は職能人の育成と知の創成を責務としている。即ち、教育と研究が大学の両輪であり、それがバランスよく回転してはじめて学問文化が進展し、後世に継承される。かと言って、大学は経済原則から外れた聖域ではないことは、ポロニアの歴史を辿るまでもない。需要に応えた人材供給のため学部性格を変えることもあろうし、知の創成のためには競争環境も必要であろう。しかし、それは飽くまでも基礎部門や非採算部門の保障を前提としたものであり、ここに民間と異なる大学の高邁な理念がある。大学における総合は、部局や専門の単なる集合ではない。専門の学際や融合による全体としての個性とともに、どんな時代にも耐え得るロバスト安定性のある知的集団であらねばならない。北方の都に学府が燦たる燈をかがげ続けるためにも、新たな総合が希求されよう。

岡田学長
事務局で退任あいさつ



9月21日付けで任期満了となった岡田晃学長は、同日、事務局大会議室で教職員を前に6年の在任期間を振り返り、退任のあいさつを述べた。

関連記事を裏表紙にカラーで紹介





学生の研究活動を支援 「学長研究奨励賞授与式」を挙

本学の学部学生の優れた研究を奨励するために設けられた「学長研究奨励賞」の第2回目となる授与式が、9月14日、事務局特別会議室で行われ、30件の応募の中から9件(11名)の研究テーマが選ばれた。

授与式では、岡田晃学長が9名の受賞者(代表)に奨励賞状と激励の言葉を贈った。なお、奨励賞として選ばれたテーマには、研究に要する経費を支援する。



喜びの受賞者の面々
= 同上



岡田学長から賞状を手渡される受賞者
= 9月14日、事務局特別会議室で

《受賞者の方々》

上所 聡子(文学部) 竹田 尚弘(理学部) 間山 貴文(医学部)
市川 桃子(教育学部) 高萩 紘子(医学部) 千知岩 祐次(薬学部)
小林 義典(法学部) 井上 雅之(医学部) 島崎 克仁(工学部)
安野 誠也(経済学部) 斉藤 健一郎(医学部)

「ネジール君を支える会」に

約250万円贈呈



募金の目録を「ネジール君を支える会」の児島和男代表に手渡す岡田学長
= 9月14日、学長室で

目の難病(網膜芽細胞腫)の治療を本学医学部附属病院で続けているネジール・シニックちゃんのため、全学に呼びかけていた募金(総額2,547,598円)の目録を9月14日、日本アルバニア協会などで組織する「ネジール君を支える会」に贈った。募金は教職員約1,200人の協力によるもので、ネジールちゃんの治療費や滞在費に充てられる。



たくさんの報道関係者が集まった贈呈式の様子
= 同左



「生産現場ですぐに役立つ機械関連技術」と題して リカレント教育講座を開催

工学部で平成11年度リカレント教育講座が、機能機械工学科の担当により9月21・22日の両日開講され、県内外の各種企業から15名の若手技術者が参加した。

今回は、生産現場ですぐに役立つことをポイントに、実習を多く取り入れて行われ、受講生は、明日から現場で即、活用できるようにと講義・実習に真剣に取り組んでいた。

また、講義終了後、受講生に畑朋延工学部長から修了証書が授与された。



わき目もふらず、熱心の実習を行う参加者
= 9月22日、工学部管理棟で

各種特別講演会を実施

「国立大学における独立行政 法人化」(工学部)

工学部の将来計画委員会は、9月10日、講師に本学の鴨野幸雄教授(法学部長)を迎えて「国立大学における独立行政法人化」と題した特別講演会を開催した。鴨野教授は、専門の立場から、国立大学の独立法人化構想が生まれた背景やそのメリット、デメリットをわかりやすく解説し、集まった多くの教職員は、熱心に耳を傾けていた。

また、このテーマに関する参加者の関心は極めて高く、用意された資料はまたたく間になくなった。この意識の高さが本学の活性化につながることを期待したい。



参加者の真剣な表情にも関心の高さが伺える
= 9月10日、工学部秀峯会館で

「4年一貫の外国語教育と 専門外国語」(外国語教育研究センター)

外国語教育研究センターでは、9月30日、講師として早稲田大学の篠田義明教授と渡辺洋一教授を招いて「4年一貫の外国語教育と専門外国語」をテーマとした講演会とワークショップを開催した。

両教授は、早稲田大学におけるカリキュラムと専門英語の必要性について講演し、ワークショップでは、経済記事・科学記事を素材とした英語の授業の実践例を示した。学内・外からの参加者48名の中には、語学担当以外の教官も多く、引き続き行われた懇談会でも、どのようにして学生の専門分野の語学力を養成するか、講師を囲んで熱心な議論が交わされた。



熱心に講演する篠田教授
= 9月30日、総合教育棟で





釜山国立大学校薬学大学との 学術交流セミナーを開く

薬学部では、9月29日、昨年12月に国際学術交流協定を結んだ韓国の釜山国立大学校薬学大学から、金英美学長をはじめとする4名の教官を招き、本学教官と初めての合同セミナーを開催した。教官、学生等約100人の参加者を前に双方から各2名の教官が研究成果を発表した。

今後は、毎年交互に合同セミナーを開催し、研究交流をより一層活発に行っていく予定。



熱心に耳を傾ける両大学の関係者
= 9月29日、薬学部薬学講堂で

50 教育の在り方をテーマに 地域交流推進シンポジウム第三弾

創立50周年記念地域交流推進シンポジウム第三弾の「金沢大学・加賀市交流シンポジウム」が、9月26日、加賀市文化会館で、加賀市の「心の教育推進市民大会」と併せて行われ、参加したたくさんの市民らが講演やパネルディスカッションを通して、これからの教育、とりわけ家庭教育の在り方を考えた。



“家庭教育の充実と見直し”をテーマに意見交換を行うパネリストたち
= 9月26日、加賀市文化会館で

本学へのお客さま(9月)



グリフィス大学(オーストラリア)のハリソン工学部長(中央)
= 9月6日、学生部長室で



ジーゲン大学(ドイツ)のヨハン・ペーター・シャプファー・カンツラー事務局長(右)ほか
= 9月24日、学長室で



釜山国立大学校薬学大学(韓国)の金英美学長(右から4人目)ほか
= 9月30日、学長室で

9月の研修スナップ

平成11年度東海・北陸地区国立学校事務情報化担当職員研修

(クライアント/サーバシステム基礎コース)

期 日: 9月27日～10月1日

受講者: 東海・北陸地区国立学校に勤務する事務情報化担当職員 30名

場 所: 総合情報処理センター



5日間にわたって行われた研修
= 9月27日、総合情報処理センターで



待望の“50年史”刊行 写真集も併せて出来上がる

この春、創立50周年を迎えた本学の「金沢大学50年史 部局編」と写真集「金沢大学 写真で見る50年」が、このほど創立50周年記念事業後援会から刊行された。

“50年史”は、1959年に“10年史”が出て以来40年ぶりの刊行となり、同会から本学へ寄附された。部局ごとの章立てで、各部局の編集委員による部局独自の構成・表現等が趣深い。部局別の歴史の変革がなじみ深く、年代を追って理解できる内容となっており、希望者に配布される予定。

なお「通史編」は、来年出来上がる予定。さらに、CD-ROM版も製作する予定となっている。



このほど刊行され、寄附を受けた「金沢大学50年史 部局編」 B5判、全1,249ページ
題字は、井口哲郎氏(法文学部第3回卒業生)の篆刻による

また、初の試みである“写真集”は、本学前身校の写真も含めて創立以来の様々な写真がフルカラーでちりばめられており、最も古い写真は1890年代と、一世紀にも渡る歴史を写真で綴っている。写真解説も親しみやすく、当時の風景・人の表情が生き生きと感じとれる仕上がりとなっている。今からの注文(有料)も担当係(076-264-5009)で受け付ける。

写真集「金沢大学 写真で見る50年」
金沢大学創立50周年記念事業後援会発行 A4判、全159ページ
ケースは石川県希少伝統産業の二俣和紙で装丁されている



国際交流協定締結大学(その15)

リバプール・ジョン・モアズ大学
(イギリス)
〔1991.10.4協定締結〕

リバプール・ジョン・モアズ大学は、本学の日本語教育関係者との交流を契機として誕生した、本学6番目の協定校である。1991年の協定締結以来、留学生を中心とした交流が続けられている。

同校は、1970年リバプール・ポリテクニクとして創設され、1992年、現在の名称のもとに「大学」となっている。

校名は、「性、身分に関係なく大志があれば不可能はない」を信念とした現代英国の起業家ジョン・モアズ卿の名に由来している。

大学の組織は、本学にも見られる人文・自然科学系学部の他に、建築、法律・社会福祉、メディア・創作芸術、

教育学・地域社会、ヘルスケア、コンピュータなど18学部、10研究科から成り、約2万人の学部・大学院学生と2,800人の教職員を擁する私立大学である。リバプール市中心部にあるキャンパスは、学生達の活気に満ちている。



元ホテルだった同大学の学生寮(同大学パンフレットから)





金沢大学社会教育研究振興会 創立20周年を迎える

9月18日、大学教育開放センターに事務局を置く金沢大学社会教育研究振興会（会長；宮本一雄宇ノ気町長）の20周年記念式典が、関係者ら約120人の参加のもと市内のホテルで開催された。同会の主な事業は、各市町村との共催講座の実施で、講師として本学の教官が多数出席するなど、大学との連携は密であり、県内の生涯学習・社会教育の推進に多大の成果を残している。



「私と金沢大学」と題して記念講演を行う岡田晃学長
= 9月18日、金沢全日空ホテル(金沢市昭和町)で

新任部局長の紹介

平成11年9月22日付けで、畑朋延教授が工学部長に就任した。



工学部長

はた とも のぶ
畑 朋延 教授

生年月日；昭13.5.2

任期；11.9.22～13.9.21

所属；電子デバイス講座

各種印刷物が完成

このたび、リーフレット「セクシュアル・ハラスメント防止のために」(人事課作成)が完成し、学内に配布された。これは、“セクハラ”防止のための心構えや相談方法を紹介している。

また、既におなじみとなった「データで見る金沢大学」(庶務課作成)も出来上がり、学内外に順次、配布される予定。

なお、これらは本学ホームページにも掲載されている。



このほど完成したリーフレット等
(お問い合わせは各担当課まで)

金大祭の 日程決まる

「第36回金大祭」は、「夜明け前 - 拓け荒野を 創造の世紀へ!」をテーマに、10月30日(土)から11月3日(水)にかけて行われる。

今年も学生による各サークル単位等の模擬店や出しものが目白押しで、10月24日(日)には恒例の金大祭パレードで街中を練り歩き、祭を盛り上げる予定。

編集後記

皆さんは、広報紙(誌)を手にとって、まず、どこから読み始めますか。私は本紙に携わるようになって、すっかり“編集後記”から目を通すようになった。

この編集後記、自分が担当するまで、単なる個人的感想の欄かと思っていたが、実はそうでもないらしい。その号で最も言いたいことなどが無意識に、念押しで登場するように感じる。あえてここから読むのも、また違った角度から読むことが出来て、オススメです。

さて、今月から林新学長にバトンタッチ。岡田前学長には、いろいろな行事等でお声をかけていただき、大変お世話になった。

これからは、新学長の就任あいさつにもあるように「独立行政法人化」の波が嫌でも押し寄せ、大変な時となりそうだ。新学長の下、“金大の個性”が光るよう、一員として今から様々な角度でいろいろな物事を(さらに欲ばって)柔軟な思考で、見ていけるようになりたい。
(黒田)



岡田学長 長い間お疲れさまでした・・・

▶感謝の気持ちを込めて
拍手でお見送り



▶岡田学長
にこやかにあいさする



▶有馬朗人文部大臣(当時)とともに



▶事務職員による花道を通して・・・

防災月間 火の用心

9月1日の“防災の日”にちなんで、各部局で消防訓練等が行われた。



消火器を使っでの初期消火に挑戦!
= 9月29日, 理学部で



留学生が積極的に参加した総合教育棟での防火訓練の様様
= 9月14日, 総合教育棟で

平成11年10月15日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学庶務部庶務課研究協力・広報係

TEL 076-264-5019
FAX 076-234-4010

本紙の内容、その他本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ 愛称“KUPIS”(キューピース)」
(アドレス = <http://www.kanazawa-u.ac.jp>)でもご覧いただけます。
本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jpでも受け付けています。

